

令和7年8月22日  
学校法人 郡山学院  
理事長 岡部 隆男

令和7年度学校関係者評価報告について

学校法人郡山学院では、学校関係者評価規定に基づき学校関係者評価委員会を開催いたしました。その内容について議事録により報告いたします。

会議議事録

|         |                                                                                                                                                                                                                   |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名   | 令和 7 年度学校関係者評価委員会                                                                                                                                                                                                 |
| 開 催 日 時 | 令和 7 年 8 月 22 日（金曜日）10：30 から 11：45 まで                                                                                                                                                                             |
| 場 所     | ケイセンビジネス公務員カレッジ 101 教室                                                                                                                                                                                            |
| 出 席 者   | <p>①委員</p> <p>企業等委員 平川物流センター所長 平川 泰司 氏</p> <p>企業等委員 有限会社凜 代表取締役 小泉 千明 氏</p> <p>卒業生委員 郡山学院同窓会 会計監査 佐川 隆一 氏</p> <p>保護者委員 郡山学院後援会 監事 村山 洋 氏</p> <p>地域代表委員 方八町第三町内会 会長 大田 公章 氏</p> <p>地域代表委員 清水台町内会 会長 河村 勝美 氏は欠席</p> |
| 議 題 等   | <p>① 開会 （司会進行 大内事務長）</p> <p>② 学校長挨拶 （岡部学校長）</p> <p>③ 議事</p> <p>令和 6 年度の自己評価・課題・改善点の説明（田中校長、星副校長）</p> <p>財務について（大内事務長）</p> <p>④ 討議・意見交換</p> <p>別紙の通り</p> <p>閉会</p>                                                 |

## 別紙

## 議事

### 1. 郡山学院高等専修学校

- ・令和6年度事業報告
- ・令和6年度自己点検表

質問：特になし

### 2. ケイセンビジネス公務員カレッジ

- ・令和6年度事業報告
- ・令和6年度自己点検表

質問：特になし

### 3. 令和6年度財務報告

質問：特になし

## 意見等

### 1. 郡山学院高等専修学校

- ・発達障害などの障がい者が増加していく中でどのように対応しているか。

→障害を持っている生徒と普通の生徒と普通に接し学校生活ができており、共に学び続けることができる学校ができていますので、今後も継続していく。

就職先については障害枠ではなく、一般枠での採用試験も受けて内定（採用）を企業からもいただいている。

インクルーシブ教育をおこないながら、人間性を高める教育をおこなっていく。

- ・具体的な就職先と離職状況についてどのような状況であるか。

→就職先はサービス、販売（ガソリンスタンド、ホテル旅館、接客業など）、製造、警備などに従事している。

離職状況については卒業後のフォローが完全ではないため把握していないがそれほど多くはないと思う。

- ・インターンシップについて県立高校などでも多業種で実施しているので多くの企業でおこなってみてはどうか。

→現在はサービス、販売など3社でおこなっている。今後は多業種でおこなうよう検討していく。

### 2. ケイセンビジネス公務員カレッジ

- ・防災士などの検定試験の費用が高く学校負担してはどうか。

→前年までは一部負担をしていたが、本年からは市町村等の補助などを活用したいと考えている。

- ・新しい取り組みをどのようなものを検討しているのか。起業を目指す若者もいるため、学生のうちから能力を身につけてさせることはできないのか。

→ビジネス系の学科については、他校が多く学科をおこなっているため難しい。学

院の生徒が入学できるような、障がい者を対象としたものを検討している。

- ・教育成果をどのように伝えているのか。また、楽しい学校づくり、工夫が必要ではないか。

→高校への案内は不十分なところもあり、情報発信を徹底していきたいと思う。SNSなどのネットでの情報発信にも力を入れていきたい。

学校運営についてはしっかりとした目標をもって入学している学生が多いため、楽しく学べる学校づくりをするため企画・検討する。

- ・なりたい職業公務員が第一位となったが、公務員学科への増加につながるのか。

→入学者が増加できるよう取り組んでいく。

### 3.財務

- ・経営安定化を図るためには入学者の確保が重要と思えるが、若者への情報発信を強化し取り組むことはできないのか。

→各学校の特徴（強み、魅力）を伝えられるような、ツールを使用して情報発信に努めていく。